

令和 4 年度 山形市文化財保護の事業報告

1 有形文化財の保存

(1)重要文化財「鳥居」保存修理事業

令和 2 年度に検討された保存修理工法に基づき、令和 4 年度は文化庁の補助を得ながら（公財）文化財建造物保存技術協会へ委託し実施設計を行った。その結果に基づき令和 5 年度の保存修理工事を発注する。

(2)古文書の散逸防止

貴重な古文書の散逸を防止するため、古文書相談会を実施し、所有者へ保管方法の助言を行う。1 2 月 1 日に古文書相談会を実施し 2 件の相談があり、古文書の保管方法や概要について助言した。

2 民俗文化財の保存

(1)無形民俗文化財の保存団体への補助金交付

後継者育成のため下記のとおり補助金を交付した。

- （県指定）・豊烈打毬保存会（300,000 円）
- ・高原植木踊保存会（50,000 円）
- （市指定）・蔵王芸能保存会（100,000 円）
- ・鹿楽招旭踊保存会（50,000 円）
- ・山家田植踊保存会（50,000 円）
- ・山寺夜行念仏保存会（50,000 円）

なお、新型コロナウイルスの影響で成澤田植踊保存会（市指定）は、令和 4 年度は活動の機会が少なく、補助金の申請がなかった。

(2)無形民俗文化財の現況調査成果の活用

山形市無形民俗文化財調査報告書を、山形市民俗芸能連合保存会に提供し、新規団体の加入を呼びかけるための検討資料として活用した。

3 埋蔵文化財の保存

(1)開発事業者との調整

令和 4 年度は、開発事業者との調整の結果、試掘対応 10 件、立会調査対応 13 件を実施した。（2 月末現在）

なお、市街化区域で開発許可が必要となる 1,000 m²を基準として、これを超える大規模な開発計画については、毎年庁内の関係各課に照会して把握に努めており、事業の実施にあたっては、試掘調査や工事立ち会い、事業計画の変更など、開発事業者との調整を図っている。

4 史跡名勝天然記念物の保存

(1)史跡山形城跡の発掘調査

霞城公園整備事業を支援するため、史跡山形城跡における発掘調査、並びに歴史考証及び発掘調査成果の整理を継続して実施する。令和4年度は以下の調査を実施した。

- ①本丸北堀土塁跡
- ②二ノ丸旧市営球場跡

(2)指定史跡の環境整備

市所管の指定史跡（山形城三ノ丸土塁跡、高原古墳、菅沢古墳二号墳、大ノ越古墳）について、史跡の適切な保存・活用を図るため、環境整備を実施した。

(3)特別天然記念物カモシカの適正な保護措置

カモシカの保護及び死亡個体の回収を業務委託により実施した。

- ・ 出動回数（4月～1月）7回（うち死亡個体数5、保護個体数2）

5 その他文化財の保存

(1)指定文化財の現況確認

指定文化財の現況確認を行い、適切な保存を図るための助言・指導を行った。令和4年度は10件の文化財を確認した。

6 文化財の活用と情報発信

(1)史跡山形城跡及び嶋遺跡等の活用

11月に山形城跡発掘調査の現地説明会を実施した。また、以下の講座等に講師として職員を派遣した。

- 5月 放送大学歴史講座（山形城）
- 8月 県立博物館高校生学芸員体験講座（山形城）
- 9月 西部公民館歴史講座（山形城）
- 10月 三戸町町議会（行政視察）（山形城）
- 10月 文化庁文化財審議会（山形城）
- 11月 西部公民館歴史講座（嶋遺跡）
- 12月 市立出羽小学校4年生（山形城）
- 2月 江南公民館歴史講座（山形城）
- 2月 南沼原郷土史研究会歴史講座（山形城）
- 3月 山形県発掘調査速報会（山形城）

(2)広報誌・市公式ホームページへの掲載など

文化財成果展を8月23日から26日まで市役所庁舎1階エントランスホール、1月21日から2月19日まで郷土館で開催し、日本遺産「山寺と紅花」について、パネル等を活用して紹介した。また、県立博物館企画展に山形城跡出土金箔瓦（最上氏時代）を貸出（3月4日から5月14日予定）。

7 郷土館の運営の充実

(1)旧済生館本館見学会等の開催

①旧済生館本館見学会（有識者による解説付見学会）を2回開催した。

第1回 6月25日（土）参加者9人（内県外0人）

第2回 11月19日（土）参加者9人（内県外0人）

②旧済生館本館3、4階特別公開（郷土館職員およびパネルによる解説付。※事前予約制）を1回開催した。

8月27日（土）参加者数13名（内、県外0人）

③企画展を3回開催した。

・6月25日（土）～8月21日（日）まで「令和4年度山形市郷土館・郷土資料収蔵所新収蔵品展」を開催し、令和3年度に新たに寄贈された資料を展示した。

・10月29日（土）から12月4日（日）まで「令和4年度山形市郷土館秋季企画展 城下町から中心市街地へー江戸時代から昭和の山形ー」を開催し、古地図や写真の展示で街並みの移り変わりを振り返った。

・1月21日（土）～2月19日（日）まで「山形市文化財成果展」を開催し、山形城跡の発掘調査の成果や新指定文化財を中心に、令和3年度の山形市の文化財に関する成果のパネル展示等を行った。

(2)観光客へのPR

①夜間の魅力を伝えるために、郷土館ナイトミュージアム（開館時間を19時30分まで延長し、旧済生館本館3・4階の灯りを点けて夜の郷土館の見学を行う）を3回開催した。

第1回 10月8日（土）来館者数30人（内、県外1人）

第2回 11月4日（金）来館者数53人（内、県外6人）

第3回 2月10日（金）来館者数24人（内、県外6人）

②郷土館運営協議会を7月12日（火）に開催し、委員の観光ボランティアガイドより意見を頂戴した。

(3)案内・解説の工夫（案内・解説の多言語化）

インバウンドの回復を見込んで、窓口にて多言語対応カードを準備した。

8 郷土資料収蔵所の運営の充実

(1)郷土資料の適切な収集・保管

①寄附の受入

下記の資料について、新たに寄附を受け入れた。

- | | |
|-------------|-----|
| ・漆掻き道具 | 1式 |
| ・古文書（水野家文書） | 25点 |
| ・古文書（鈴木家文書） | 43点 |

②収蔵環境・展示の整備

- ・芸工大で収蔵環境の調査・研究を実施していただいている。
- ・展示パネルや資料の解説板等を改善した。

(2)郷土資料の有効活用

①見学者の受入れ

- ・見学者 137名 ※2月末現在

②資料の貸出

- ・山形市立図書館（千歯扱き等 3点）
- ・東北芸術工科大学（馬上台遺跡遺物 40点）
- ・蔵王第一小学校（糸車 1点）

9 文化財保存活用地域計画の作成

(1)計画の作成作業

文化財保存活用地域計画作成にかかる協議会を2回（8/31、2/9）開催し、内容を協議した。関連文化財群等設定委員会を1回（3/22）開催する。

(2)説明会等の開催

10月1日にシンポジウムを開催し市民に周知するとともに、シンポジウム参加者及び文化財関係団体へアンケートや聞き取り調査を行い、意見を聴取した。

(3)文化財の調査

未把握の文化財の把握のための調査を9回実施した。